

琉球列島宮古島で観察したイリオモテアザミ花上の シリトゲヒメジョウカイモドキの性比

出嶋利明

〒 769-0101 香川県高松市国分寺町新居 2300-7

Sex ratio of *Stemodeattas chujoi* on the flower of *Cirsium brevicaule* var. *irumtiense*
observed at Miyako-jima of the Ryûkyû Islands

Toshiaki DEJIMA

筆者は、従来石垣島でのみ知られていたシリトゲヒメジョウカイモドキ *Stemodeattas chujoi* が宮古島にも生息しており、イリオモテアザミ *Cirsium brevicaule* var. *irumtiense* 花上で採集した個体は4雌のみであったと報告した(出嶋, 2014)。2015年も宮古島の同じ場所で本種を調査する機会があり、出来るだけ多くの個体を採集し、その性比を調べたので報告する。

調査日 2015年4月6日 9時50分～11時10分
調査場所 沖縄県宮古島市東平安名崎(宮古島)
天候 晴れ

採集状況および性比

前回2014年の調査は3月28日であった。2015年はこれより約一週間遅れであったので、花が終わっているイリオモテアザミもあったが、まだ多く咲いていた。シリトゲヒメジョウカイモドキの見られる花から、潰れないよう注意し指で摘み、本種を採集した(吸虫管を使用しなかったのは花粉が多かったためである)。帰宅後、双眼実体顕微

鏡下で性別を確認した。性比は以下の通りであった。

採集個体数と性比: 4♂♂, 23♀♀ (♂ = 14.8%, ♀ = 85.2%)

イリオモテアザミ花上にいる個体は明らかに雌が多いことが分かった。また、2014年の観察では交尾している個体がいくつか見られたが、今回は全く見られなかった。

なお、テッポウユリ *Lilium longiflorum* に1♀、テンノウメ *Osteomeles anthyllidifolia* var. *subrotunda* に1♀(図1)が見られたが、本種は圧倒的にイリオモテアザミ花上に多いことも分かった(他の花上にいた2♀♀は性比には入れていない)。最後に本報告にあたり、アドバイスを頂いた浅野真氏に感謝したい。

引用文献

出嶋利明, 2014. シリトゲヒメジョウカイモドキの宮古島の分布記録. さやばねニューシリーズ (16): 34-35.

(2015年7月18日受領, 2015年8月26日受理)

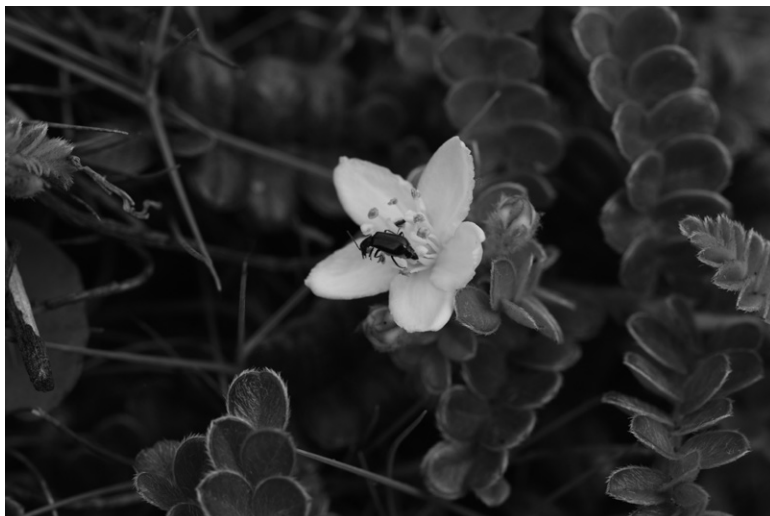


図1. テンノウメ花上のシリトゲヒメジョウカイモドキ♀.